

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業の
ものづくり・人づくりを紹介！
企業の
ちから

No.23 The company in Shirakawa

(株)牧野工業 白河工場
MAKINO INDUSTRY CO., LTD

住所：白坂鶴子山103
事業内容：工具用刃物ケースなどプラスチック成型品の製造

一貫自社生産でコストダウンを可能に。
使いやすさを追求した切削工具ケースを製造



- ① バリエーション豊かなプラスチックケース。自社製品のほとんどが白河工場で製造されています。
- ② 工場外観。白と緑でデザインされ、周囲の環境と調和しています。
- ③ 社員の皆さん。職場は若さと活気にあふれています。
- ④ 整理された工場内。成型用の様々な機械が並んでいます。
- ⑤ 太陽光発電システムを設置し、省エネルギー活動に取り組んでいます。
- ⑥ 「プラスチックケースのことなら牧野工業と言われるようになりたい」と話す岸本さん。

「私たちの会社は、工具用刃物などを入れるプラスチックケースを製造しています。入れ物という考え方だけでなく、透明度が高く中身が良く見え、収納品を引き立てるようなケースづくりを目指しています」と話す白河工場製造課長の岸本栄司さん。

牧野工業は、昭和49年に千葉県松戸市で創業。交通の利便性や復興支援などから、平成24年に白河工場を建設しました。これまで、社外の協力工場に依頼していたケースの成型作業を白河工場に集約したことで、製品設計から販売まですべての業務を自社で行う一貫生産体制を築きあげ、コストダウンを実現。低価格・高品質の製品を、国内の主要な工具メーカーに提供しています。

敷地面積は約7,000㎡で社員は20人。「地元に残りたい若者を採用したい」という牧野守雄社長の意向で、すべての社員を地元で採用し、地域の雇用に貢献しています。また、平成21年に取得したISO14001に基づき、環境に配慮した「地球に優しい」製品づくりを目指し、社員一人ひとりが自然に行動し取り組めるような会社づくりを心掛けています。

「独自の技術をさらに向上させ、より良い製品をつくること、そして地域に愛される会社になることが目標です。その実現に向け、若い社員たちとともに頑張ります」と岸本さんは笑顔で話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

1月20日から2月14日までの義援金・寄附金の提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

2月15日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

●理容まるや白河店 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(1月22日～2月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様

「いいね！」を押して市の情報をチェック



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover 今月号の表紙

100号目となる今月号の表紙は、「白河だるま市」のイラストです。こちらは、京都を拠点に活躍されているイラストレーターの渡辺チカラさんに制作・提供していただきました。

渡辺さんにはこれまで、平成24年10月1日号「白河提灯まつり」、平成25年4月1日号「小峰城」のイラストを描いていただき、今回が3回目となります。

笑顔でだるまを買い求める人々や、大勢の人たちでにぎわう様子をイラストで紹介することができました。渡辺さんありがとうございました。



渡辺さんは、イラストのほか、絵画制作、似顔絵・肖像画、壁画制作などを手掛けています。

イラストや作品の詳細は、ホームページで見ることができます。

▶公式ウェブサイト
<http://chikaraartstudio.jp>